



株式会社ワッツ

(2735 東京証券取引所プライム市場)

2023年8月期第2四半期決算と 通期計画の進捗状況について

2023年4月14日（金）

代表取締役社長 平岡 史生

目次



決算概要

2023年8月期の
2Q連結決算について P2 – P6

事業別

2023年8月期2Qにおける
各事業の状況について P8 – P14

事業計画

2023年8月期業績予想と
各事業の取組みについて P16 – P21

参考資料

ワッツグループについて P23 – P30



(単位：百万円)

業績ハイライト	2022年8月期第2四半期		2023年8月期第2四半期（当期）			
		構成比		構成比	前年同期比	計画比
売上高	28,506	—	29,550	—	103.7%	99.7%
売上総利益	10,914	38.3%	11,169	37.8%	102.3%	—
販売費及び一般管理費	10,277	36.1%	10,897	36.9%	106.0%	—
EBITDA	959	3.4%	635	2.1%	66.2%	—
営業利益	637	2.2%	271	0.9%	42.7%	71.6%
経常利益	678	2.4%	270	0.9%	39.9%	79.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	361	1.3%	292	1.0%	80.9%	132.9%
1株当たり四半期純利益（円）	26.89		21.53		—	—

- ✓ **売上高**は、概ね計画通り推移し、前年同期比**3.7%増**、計画比**99.7%** →P3
- ✓ **営業利益**は、原価率の高騰や光熱費の上昇に加え、大型店舗や前年にM&Aで取得した店舗（フレッツ屋号の店舗）の改装を積極的に行ったこと等により、前年同期比**42.7%**と減益。 →P4,5
また、計画比**71.6%**と計画には届かなかった
- ✓ **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、前年同期比**80.9%**と減益であったものの、当社連結子会社間の組織再編に伴い法人税等調整額（益）を計上したことを主因として、計画比**132.9%**と計画を上回った



(単位：百万円)

事業部門別売上高		2022年8月期第2四半期		2023年8月期第2四半期(当期)		
			構成比		構成比	前年同期比
100円ショップ	直営	25,314	88.8%	26,377	89.3%	104.2%
	卸その他	1,071	3.8%	1,017	3.4%	95.0%
	小計	26,385	92.6%	27,394	92.7%	103.8%
海外事業	直営	164	0.6%	128	0.4%	78.4%
	卸	486	1.7%	518	1.8%	106.7%
	小計	650	2.3%	647	2.2%	99.5%
国内 その他業態	ブオーナ・ビータ					
	リアル	1,470	5.2%	1,508	5.1%	102.6%
	ときのね 他					
合計		28,506	100.0%	29,550	100.0%	103.7%

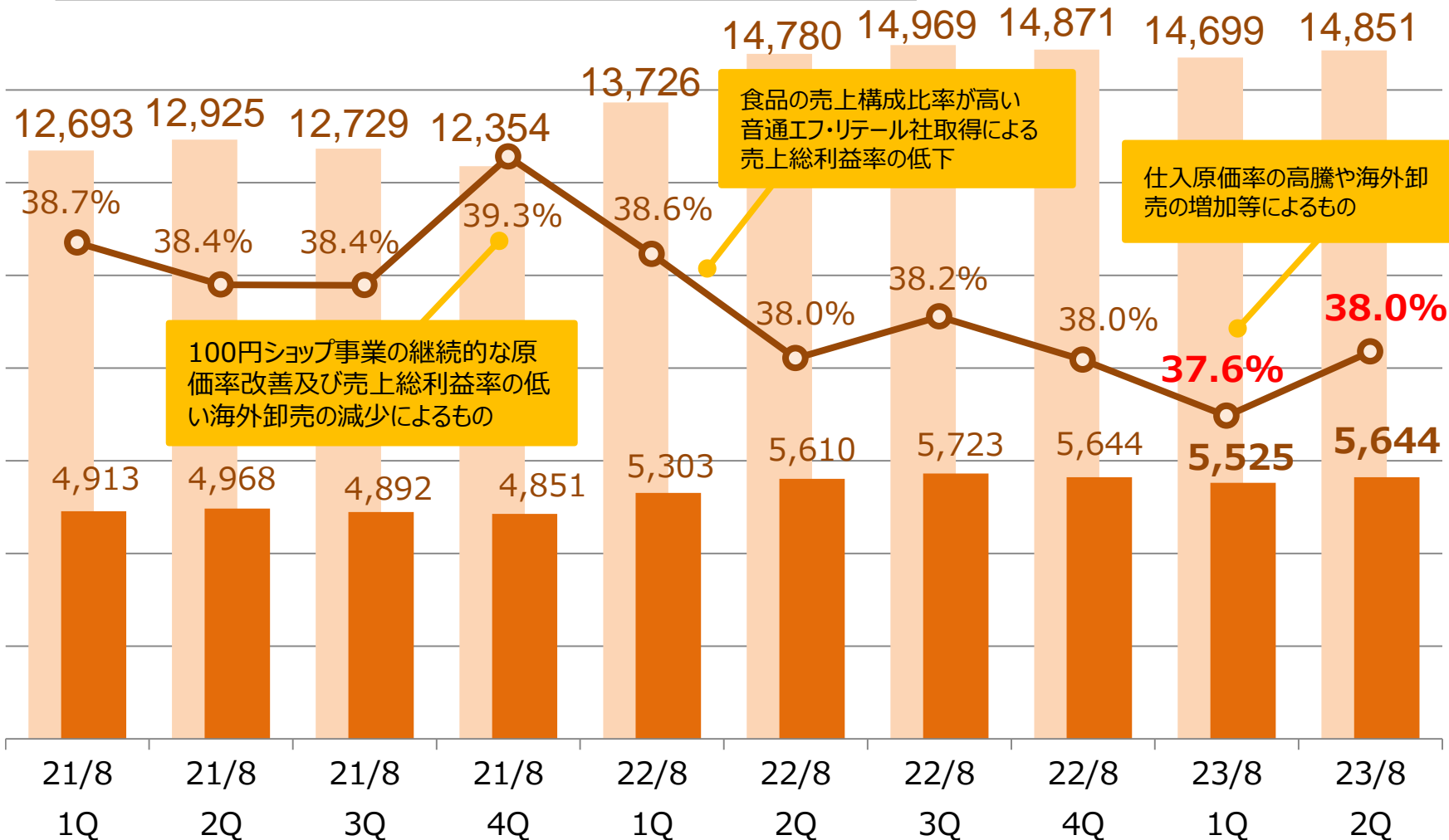
- ✓ 100円ショップ直営は、直営店舗数の増加により売上高を伸ばし、連結売上高に占めるシェアは0.5%増加したが、卸その他売上高の減少により、国内100円ショップ事業の連結売上高に占めるシェアは0.1%増加に留まった

四半期別売上総利益率の推移



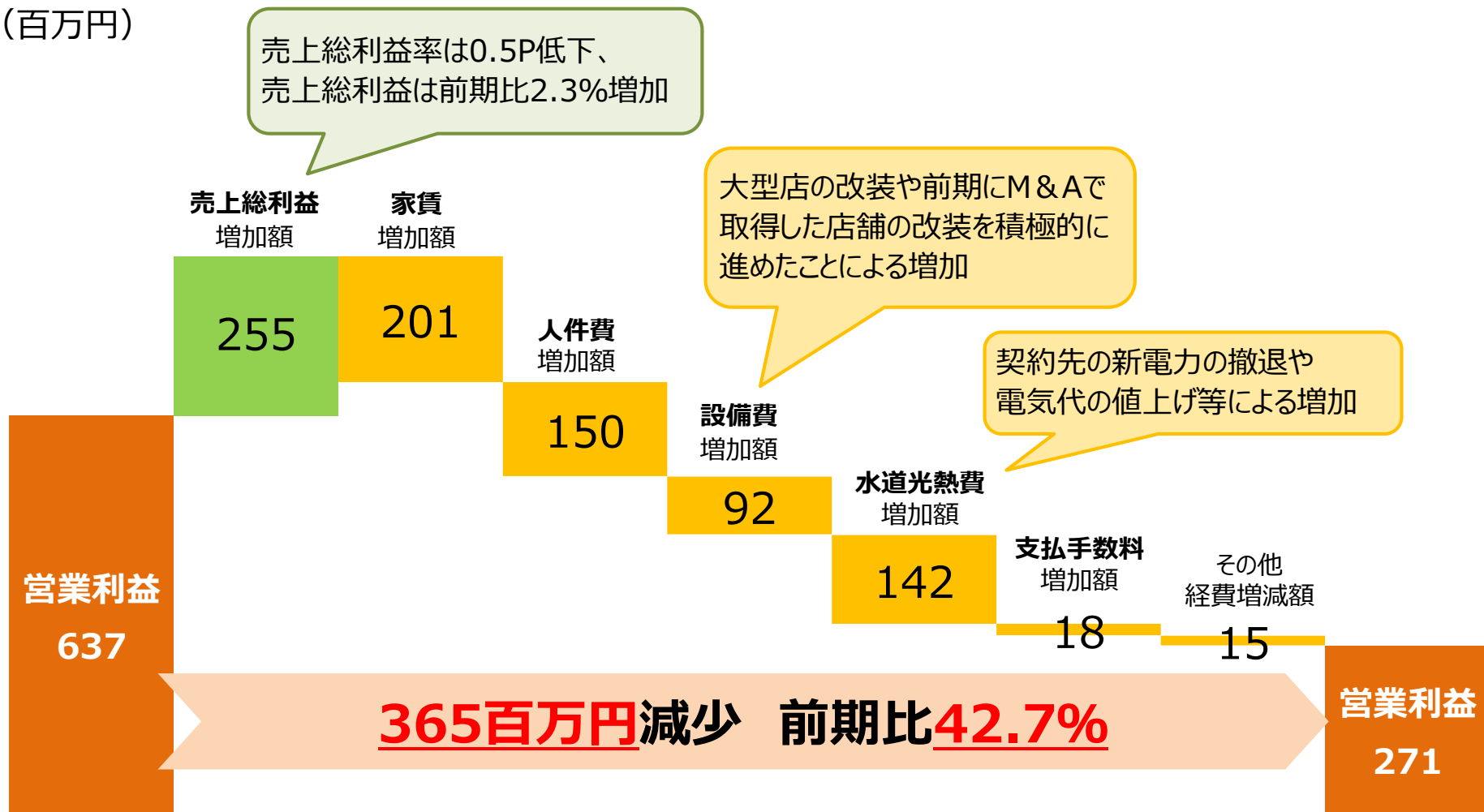
売上高 売上総利益 売上総利益率

(百万円)





(百万円)



前期

当期

(単位：百万円)

連結 貸借対照表	2022年8月期		2023年8月期第2四半期 (当期)	
		増減率		増減率
現金及び預金	6,687	8.4%増	6,633	0.8%減
商品及び製品	8,734	17.5%増	9,037	3.5%増
その他の流動資産	3,139	28.2%増	2,645	15.7%減
有形固定資産	2,155	38.9%増	2,222	3.1%増
その他の固定資産	4,883	30.6%増	4,862	0.4%減
総資産	25,600	20.0%増	25,401	0.8%減
負債	13,669	35.1%増	13,387	2.1%減
純資産	11,931	6.3%増	12,014	0.7%増

- ✓ 自己資本比率は47.3%、前期末から0.7ポイント増加
- ✓ その他の流動資産は、受取手形及び売掛金が456百万円減少
- ✓ 負債は、支払手形及び買掛金が382百万円、長期借入金が127百万円それぞれ減少した一方、電子記録債務が422百万円増加

(単位：百万円)

連結 キャッシュ・フロー	2022年8月期第2四半期		2023年8月期第2四半期 (当期)	
		増減額		増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	915	△886	596	△318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△570	△160	△425	144
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	393	△220	△221
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	14	△3	△13
現金及び現金同等物の期末残高	6,524	△1,061	6,633	109
フリーキャッシュ・フロー	345	△1,047	170	△174

- ✓ 営業活動によるC/Fは、税金等調整前当期純利益が454百万円減少
- ✓ 投資活動によるC/Fの主な内訳は、有形固定資産の取得による支出347百万円、敷金及び保証金の差入による支出75百万円

目次



決算概要

2023年8月期2Qの
連結決算について

P2 – P6

事業別

2023年8月期2Qにおける
各事業の状況について

P8 – P14

事業計画

2023年8月期業績予想と
各事業の取組みについて

P16 – P21







参考資料

ワッツグループについて



P23 – P30





国内100円ショップ事業

 	出退店の状況	通期計画の出店236店、退店90店に対して 104店出店 、 53店退店 し、期末店舗数は 1,692店 →P10
 	Wattsブランド店舗	出店・改装により102店増加して 1,131店 。100円ショップ全店に占める割合は66.8%
 	組織再編	2022年9月に音通エフ・リテールをワッツ東日本販売、ワッツ西日本販売へ組織再編。統合作業は概ね完了

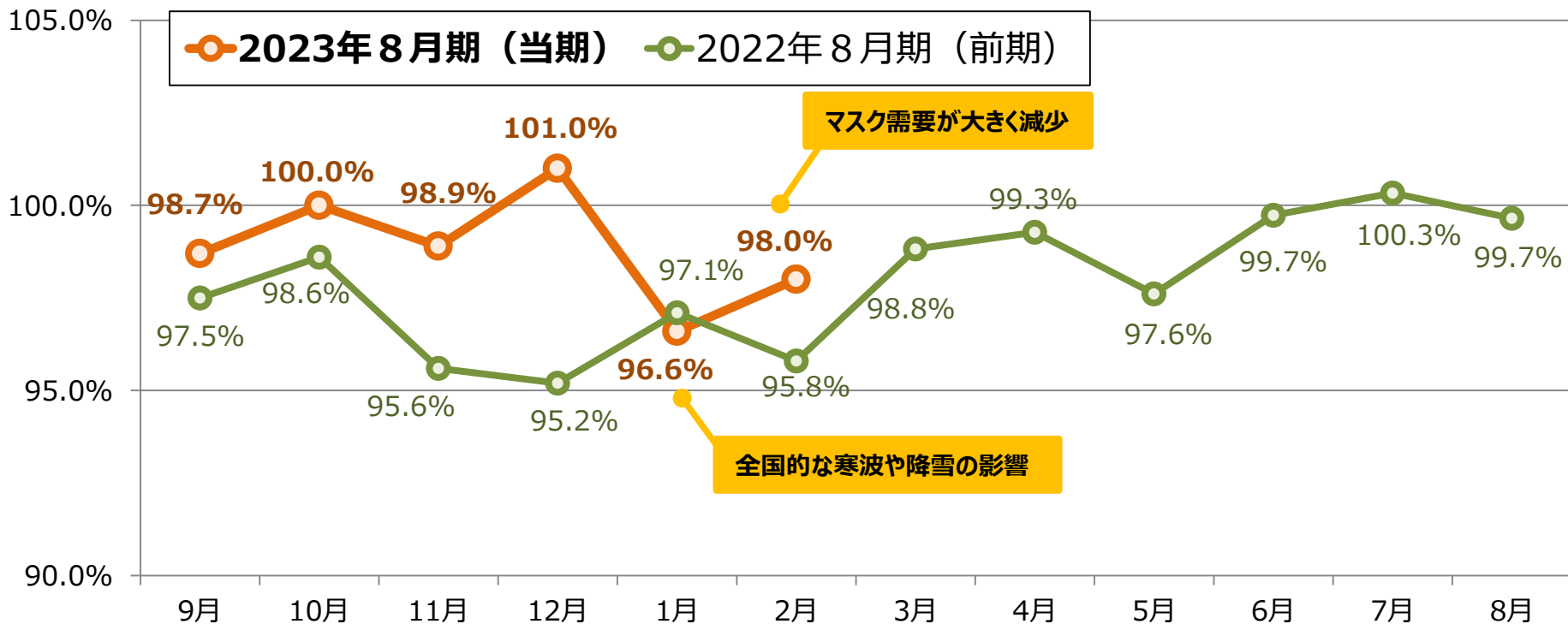
海外事業

 	海外店舗数	当社商品を取り扱う店舗は、当社グループ内で 51店 （4店舗減）、現地パートナーの店舗を合わせると約80店 →P12
--	-------	--

国内その他事業

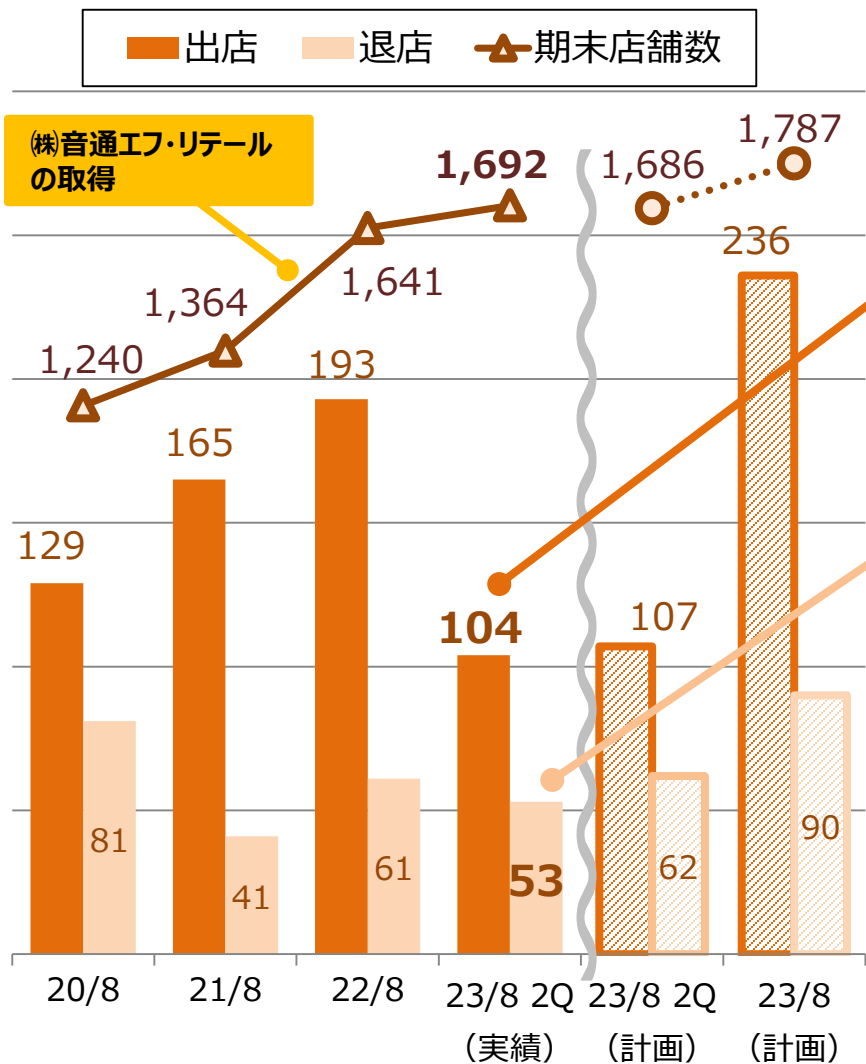
	Buona Vita (ブオーナ・ビータ)	心地よい生活を提案する雑貨店を 15店 展開、既存店対前年同期比は110.4%と好調に推移 →P13
	リアル	地域密着型のディスカウントショップ。2月末現在 5店 展開、100円ショップ事業とのシナジー効果を創出していく →P14

100円ショップ事業の状況① ～既存店売上高対前年同月比の推移～



上期累計	売上高	客数	客単価
前年同期	96.6%	95.5%	100.1%
当期	99.0%	97.8%	101.2%

- ✓ 新規商品の送り込みによる売場鮮度向上や既存店の改装を実施したものの、既存店売上高対前年同期比は99.0%に留まる
- ✓ 一方で、Wattsブランド店舗売上高の対前年同期比は100.7%



(株)音通エフ・リテールの取得

出退店計画と実績

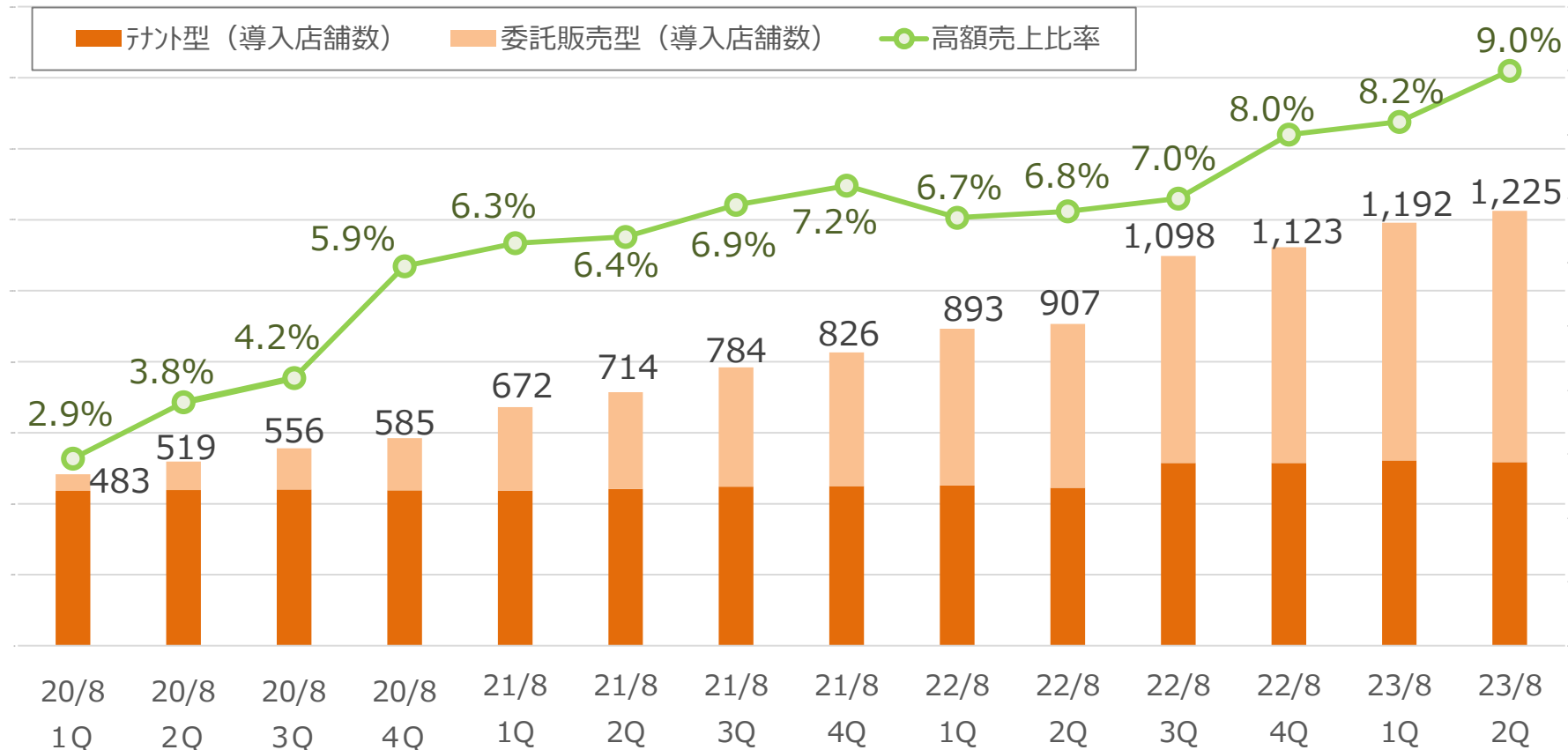
第2四半期
出店計画 107店
→ **104店**出店
(通期進捗率44.1%)

第2四半期
退店計画 62店
→ **53店**退店
(通期進捗率58.9%)

- ✓ 出店ペースは概ね計画通りに進み、退店数も計画内であったことから、純増計画45店に対し、**純増51店**と計画超過
- ✓ 全1,692店の内、Wattsブランド店舗は、1,131店 (102店純増)

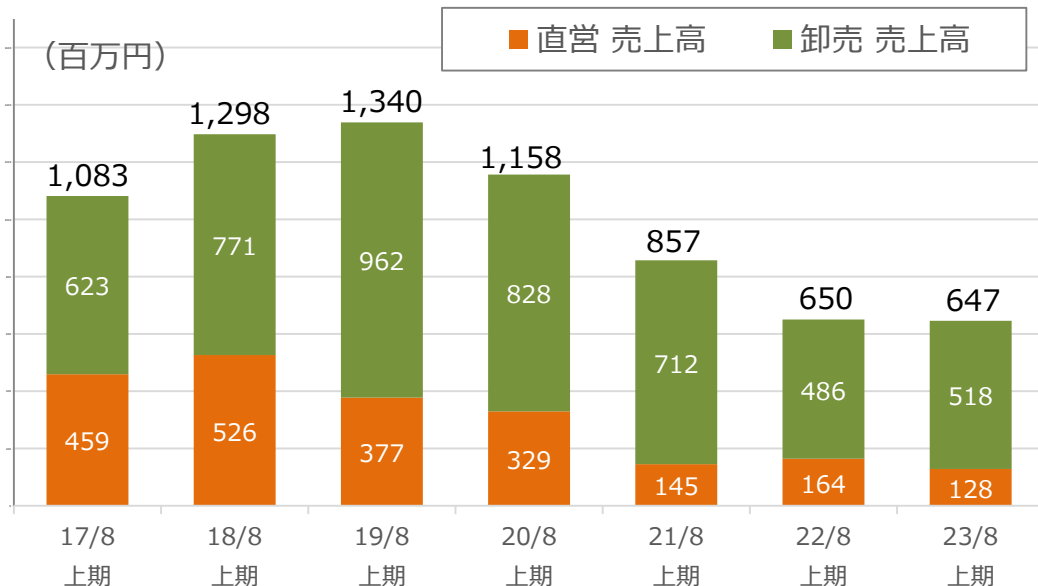
100円ショップ事業の状況③

～高額商品導入店舗数と売上シェアの推移～



※ 22/8 3Qより旧(株)音通エフ・リテール店舗を含めております

- ✓ 高額商品数は、足許2,169アイテム
- ✓ 売上高構成比20.0%を目標に高額商品の拡充及び導入を引き続き進めていく

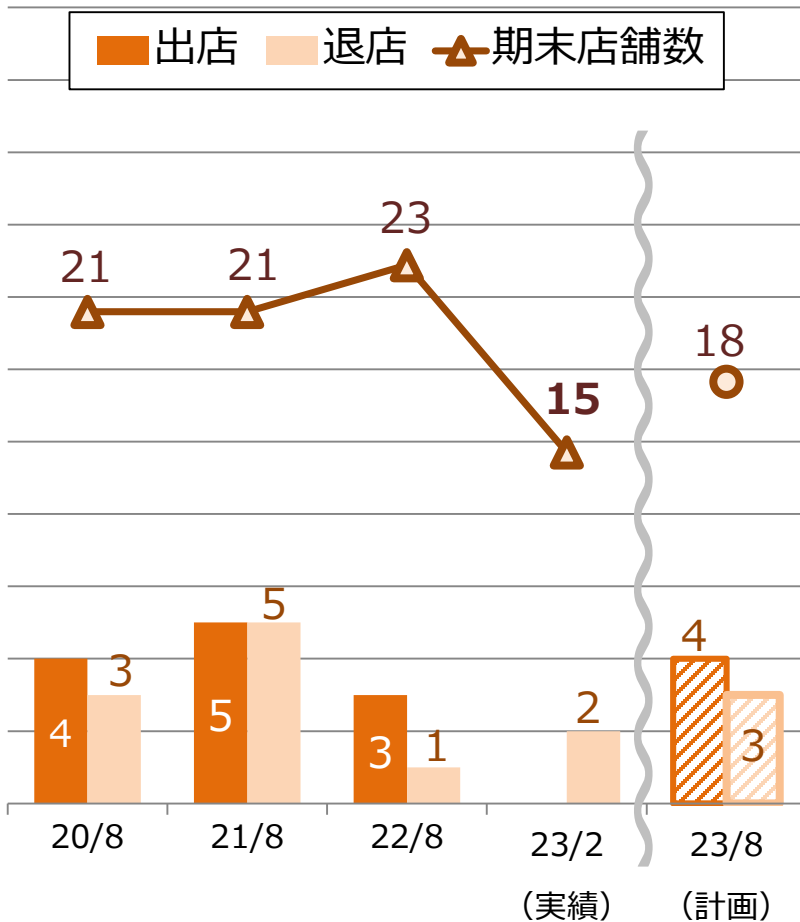


国名	出店形態	出店	退店	店舗数 (23/2)
タイ	FC	—	5	32
中国	FC	—	—	4
ペルー	直営	1	—	15
合計		1	5	51



KOMONOYA サンフェリペ店 (ペルー)

- ✓ タイは、32店舗展開（5店舗減）
「Watts」屋号の店舗も新店、改装により11店舗展開
- ✓ ペルーは、外部環境の悪化により減収
- ✓ 新規取引先への卸売が貢献し、売上高は前年同期並みを確保



ブオーナ・ビータ グランエミオ所沢店 (埼玉県)

- ✓ 2022年9月1日付でブオーナ・ビータを営むワッツ・コネクションをワッツ東日本販売へ吸収合併
- ✓ 2023年2月末現在、**15店舗**
(※当社100円ショップ内への委託販売型6店舗は店舗数から除外)
- ✓ コロナ禍前の客数に戻りつつあり、既存店売上高の対前年同期比は110.4%と好調に推移



- ✓ 同社の強みである商品調達力を活かして、お買い得な商品を幅広く展開
- ✓ 当社100円ショップとのコラボ店舗を運営、100円ショップ事業とのシナジー効果創出を図る
- ✓ 2023年2月末時点で **5店舗**



- ✓ おうち雑貨店「Tokino:ne（ときのね）」を2店舗展開
- ✓ 朝・昼・夕・夜をゾーンで分け、各時間帯で必要な商品を集めており、お客様それぞれのルーティーンをイメージしながら楽しくショッピングができるように工夫
- ✓ 当社100円ショップでのコーナー展開を約200店舗で開始

目次



決算概要

2023年8月期2Qの
連結決算について

P2 – P6

事業別

2023年8月期2Qにおける
各事業の状況について

P8 – P14

事業計画

**2023年8月期業績予想と
各事業の取組みについて**

P16 – P21

参考資料

ワッツグループについて

P23 – P30

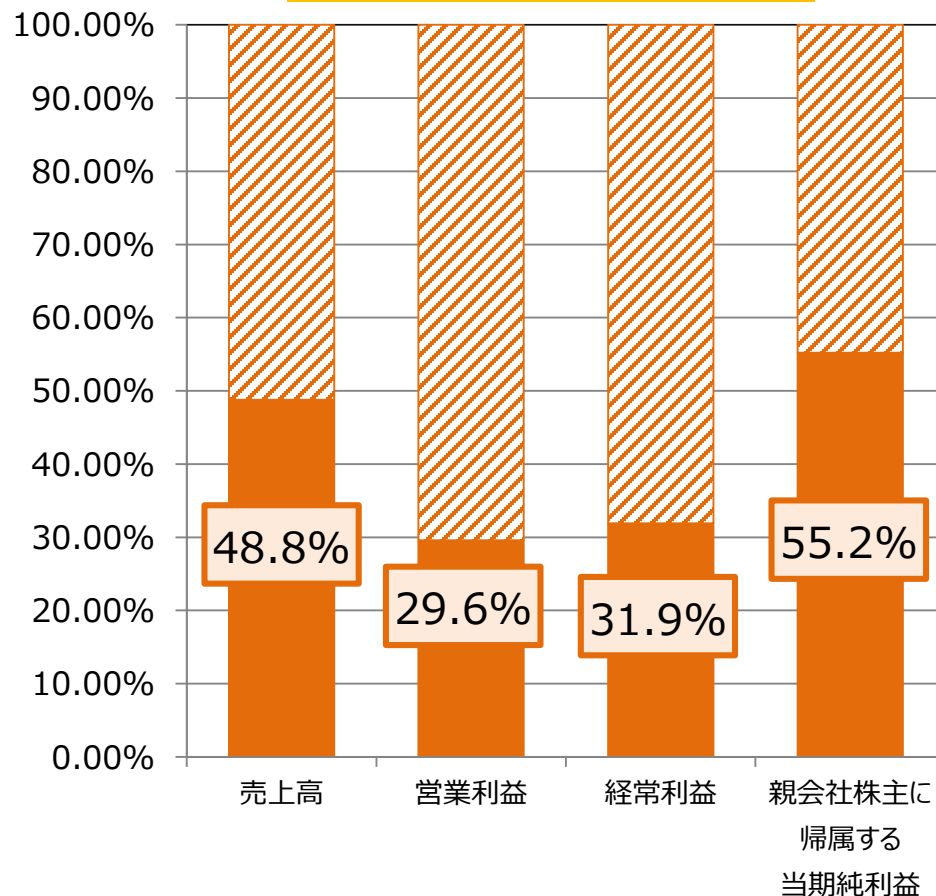


(単位：百万円)

業績予想	2023年8月期（予想）	
	構成比	前期比
売上高	60,500	103.7%
営業利益	920	92.1%
経常利益	850	74.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	530	67.8%
1株当たり当期純利益（円）	39.04	—

- ✓ 販管費は計画内であったものの、売上総利益率が計画を下回ったことで、営業利益、経常利益は計画を下回って推移
- ✓ 一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額（益）の計上を主因として、足許では計画を上回って推移
- ✓ 通期の業績予想は据え置くが、今後、修正が必要と判断した場合、速やかに情報開示を行う

対通期予想進捗率





いい商品を安く 売る仕組みづくり の追求を継続

- ✓ ローコスト出退店
- ✓ ローコスト・オペレーション
- ✓ お買い得な実生活雑貨
- ✓ POSシステムの活用と自動発注化への対応強化

100円ショップ事業

他業態とのミックス 店舗の開発・展開

- ✓ 「Watts」「Watts with」出店モデルの一層の深化
- ✓ その他業態を活用したグループシナジーの創出
- ✓ 更なる成長のためのM&Aも検討

進出国ごとの ビジネスモデル確立

- ✓ ウィズコロナ環境下での既存事業の一層の伸長
- ✓ 海外パートナーとの共同事業の構築
- ✓ 既存の経営資源を活かした異業種とのコラボ

海外事業



その他業態

業容の拡大と 収益源の多角化 を図る

- ✓ グループECチャネルの抜本的強化
- ✓ M&Aを含めた、新たな可能性の捕捉



高額商品の取扱い



- ✓ 高額商品（100円以外の価格帯商品群）の取扱いにより、商品の充実・売り場の活性化を図る
- ✓ 取扱店舗を委託販売型店舗にも積極的に拡大し、グループ全体の粗利率改善へと繋げる
- ✓ 2023年8月期中に売上高構成比を20.0%に伸ばし、アイテム数は4,000アイテムを目標とする

コラボ出店

- ✓ ファッション雑貨店「Buona Vita」やおうち雑貨店「Tokino:ne」等のコーナーを展開し、グループ事業間でのシナジー効果創出に取り組む





セルフPOSレジの導入



- ✓ キャッシュレス専用のセルフPOSレジは、2023年2月末現在、88店舗で稼働。現金決済対応のフルセルフレジについても、一部店舗で試行中
- ✓ 精算業務の効率化・省力化により生産性を向上させ、削減した人的リソースをお客様満足度向上へ
- ✓ 会計の待ち時間を減らし、ピーク時の列解消へ（機会損失の減少）
- ✓ 非対面によるお客様・従業員双方の新型コロナウイルスの感染防止対策に

POSデータの活用



- ✓ 滞留商品を削減し、売れ筋商品や新規商品に入れ替えることで売場の商品鮮度を高める
- ✓ POSデータを活用した販売分析を基に、立地や客層に合わせた店舗モデルを確立していく
- ✓ 自動発注システムをテナント型450店舗超へ導入完了。自動発注精度の向上及び旧音通エフ・リテール店舗への導入を進める



オンラインショップ



ワッツオンラインでお買い物した商品を店舗にお届け

東京都・千葉県
埼玉県・大阪府

7 店舗限定

店舗受け取りサービス開始

税込 **3,300円** 以上のご注文で **送料無料**

- ✓ 品揃えは **1万9,000アイテム以上** で、1個からの注文も可能
- ✓ 店舗受け取りサービスを一部店舗で開始
- ✓ 100円ショップだけでなく、ワッツグループブランドを取扱い中

SNSの活用

twitter



Instagram



・ワッツ公式YouTubeチャンネル



- ✓ 当社認知度向上のツールとして活用

**KoMoNoYA**
OSAKA JAPAN

【海外事業】

- 日本商品の拡大
- 店舗プロモーション強化による客数増
- 新市場の開拓と既存市場の育成
- タイ事業の構造改革、ペルー事業の改善

Buona Vita
フォナ・ビータ

【Buona Vita】

- 新店4店舗計画
- 既存店前年比102.0%
- プチプラコスメの導入店舗増

スーパーディスカウント

リアル

【リアル】

- 新店1店舗計画（ワッツ直営店からの切替え）
- 既存店前年比100.0%
- 100円ショップ事業とシナジー効果が見込める体制の構築

NIPPAN
ニッパ

【ニッパン】

- 企業別にカタログやDM案内を実施
- ネット通販サイトへのカード決済導入

目次



決算概要

2023年8月期2Qの
連結決算について

P2 – P6

事業別

2023年8月期2Qにおける
各事業の状況について

P8 – P14

事業計画

2023年8月期業績予想と
各事業の取組みについて

P16 – P21

参考資料

ワッツグループについて

P23 – P30



国内100円ショップ事業



FLET'S
100 YEN SHOP



海外事業

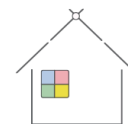


KOMONOYA
OSAKA JAPAN



小物家园
KOMONOKAEN

国内その他業態



Tokino:ne

スーパーディスカウント

リアル



その他事業の概要



心地よい生活を提案する
雑貨店「フオーナ・ビータ」
2023年2月末現在、
15店舗



時間をテーマにしたおうち雑
貨店「Tokino:ne」、
2店舗展開



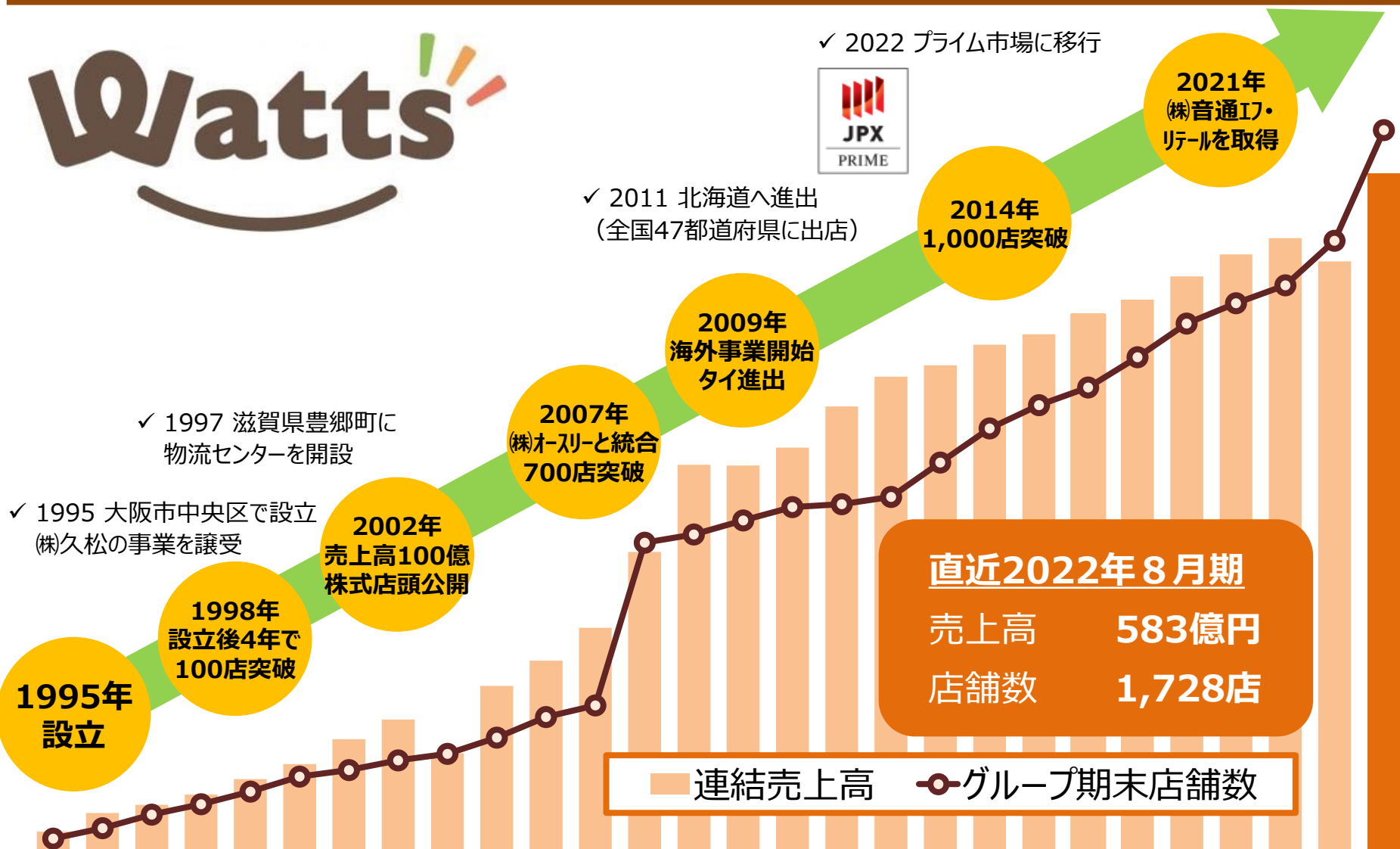
100円ショップと食品スーパーの
コラボ店舗



地域密着の小型
ディスカウントショップ。
2023年2月末現在、
5店舗



設立	1995年2月22日（現在は、第29期）
社名の由来	おもろいことを「ワッ」とやろう！
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード： 2735)
資本金	4億4,029万円
本社所在地	大阪府中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル5階
主な業務	日用品・雑貨の卸小売業 (主に 100円ショップの運営)
グループ従業員数	3,567名（2023/2/28現在） ※パート・アルバイトを含む
グループ店舗数	1,766店（2023/2/28現在） ※その他店舗を含む



サステナビリティ/ESGの取組み



環境に関する取組み

- ✓ 気候関連リスクを評価する指標として、温室効果ガス（GHG）排出量の算定を実施

	2021年8月期	2022年8月期
Scope 1	126t-CO2	136t-CO2
Scope 2（取引基準）	10,508t-CO2	10,312t-CO2
Scope 2（市場基準）	10,736t-CO2	10,540t-CO2

- ✓ 電気使用量削減に向けて、店内照明のLED化の推進。2022年8月期は37店舗（投資費用59百万円）で切替実施

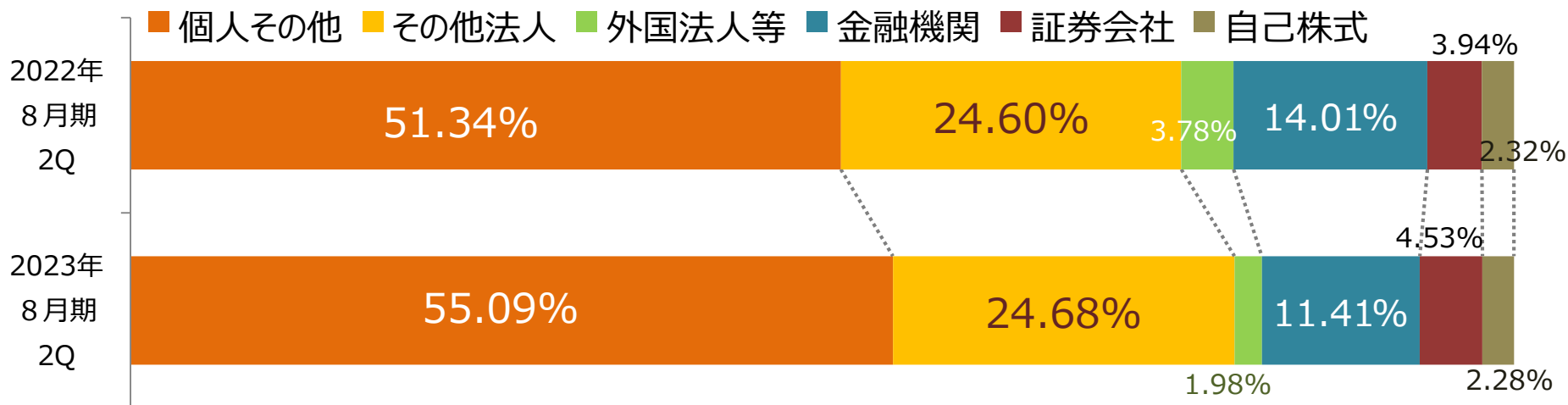
人材に関する取組み

- ✓ 【ダイバーシティ】
性別・国籍等を問わず、本人の能力や適性に基づいた人材の登用、多様性の確保を進める。
女性管理職比率は10%（2022年8月期）
- ✓ 【ワーク・ライフ・バランス】
有給休暇、男性の育児休暇取得等を推奨し、働きやすい職場環境を作る

ガバナンス

- ✓ 気候関連問題を含むサステナビリティに対処するため、「サステナビリティ委員会」を設置。代表取締役社長が委員長を務め、意思判断、取締役会への報告プロセスを円滑化し、気候関連課題の経営への統合を図りやすい体制を整備

株主構成



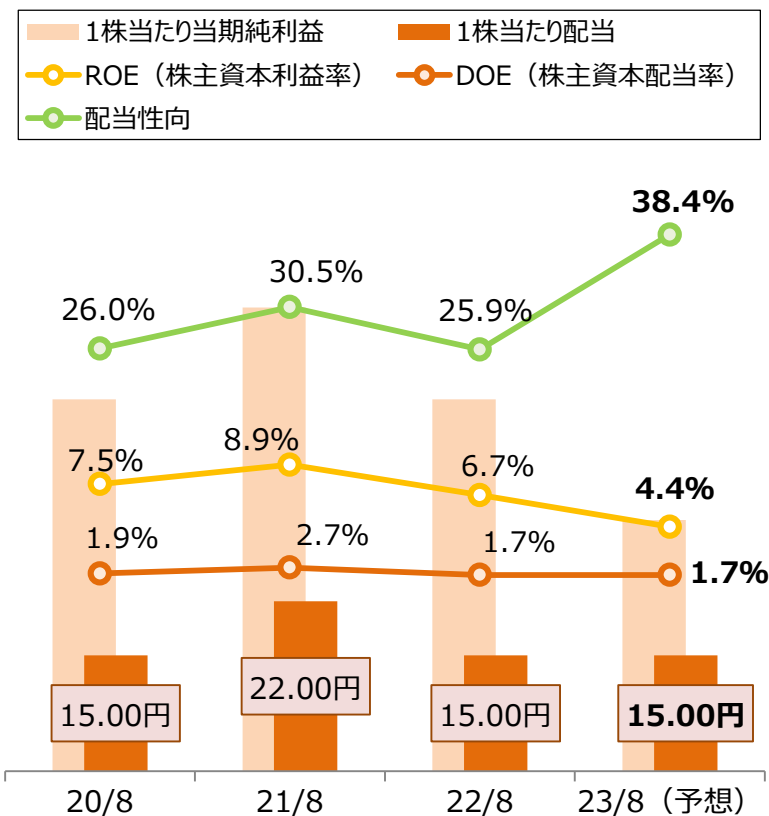
	2021年 8月期 第2四半期	2022年 8月期 第2四半期	2023年 8月期 第2四半期	前年同期末比
発行済株式総数	13,958,800株	13,898,800株	13,898,800株	-
株主数	17,710名	17,572名	18,897名	+1,325名
個人その他	50.82%	51.34%	55.09%	+3.75% _株
その他法人	24.58%	24.60%	24.68%	+0.08% _株
外国法人等	6.30%	3.78%	1.98%	△1.80% _株
金融機関	15.77%	14.01%	11.41%	△2.60% _株
証券会社	2.51%	3.94%	4.53%	+0.59% _株
自己株式	3.58%	2.32%	2.28%	△0.04% _株

- ✓ 譲渡制限付株式報酬として、ワッツ役員に自己株式を割当てたため、自己株式所有比率は0.04%減少
- ✓ 個人株主所有比率は前年同期末比3.75%増加

(注) 小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。



ワッツは、「安定した配当を継続して行う」ことが、株主の皆様への利益還元であると考えています。



	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期 (予想)
1株当たり当期純利益	57.80円	72.09円	57.83円	39.04円
1株当たり配当金	15.00円	22.00円	15.00円	15.00円
配当性向	26.0%	30.5%	25.9%	38.4%
配当利回り	1.6%	2.5%	2.1%	2.2%
ROE (株主資本利益率)	7.5%	8.9%	6.7%	4.4%
DOE (株主資本配当率)	1.9%	2.7%	1.7%	1.7%

※各事業年度の配当利回りは決算基準日の株価で算出
(2023年8月期配当利回りは2月28日の株価で算出)

株主優待制度



保有株式数	優待内容
200株以上	当社オンラインショップでご利用可能な株主優待券 税込み2,200円分

- ✓ 株主優待の商品を自由に選びたいという株主様の声にお応えし、当社オンラインショップでご利用可能な株主優待券を贈呈いたします

※2022年8月期の優待内容です

※オンラインショップ掲載の全商品を対象にご利用いただけます

※株主優待発送の送料は当社にて負担いたします

※株主優待券は、当社オンラインショップのみでご利用可能です。店舗ではご利用いただけません



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社ワッツ 常務取締役経営企画室長 森 秀人

e-mail：ir@watts-jp.com

TEL： 06-4792-3280